

# 人にやさしく！

校長 新居崎 杉彦

## 今年「2020」は、特別な一年となるようがんばろう！

新年あけましておめでとうございます。子どもたちの元気な声が校庭に戻ってきて、丹波市小学校の2020年がスタートしました。昨日の始業式で、「この一年を特別な一年にしよう」と話しましたが、子どもたちにも保護者の皆様にも良き一年となるように、学校とご家庭が協力してこの一年を歩んでいけたらと思います。今年も、本校の取組についてご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、文頭の「特別な一年」の意味には、「東京五輪・パラリンピック」開催年を迎えたことがあります。前回の「東京オリンピック」の時、私はまだ一歳と生まれたばかりで、もちろん何も覚えていません。しかし、それから6年後の「大阪万博」の時は小学1年生で、様々なことを覚えています。なぜこんな話をするかということ、私の人生の中でこの2つの出来事があった年が、これまでの人生の中で非常に特別な一年になっているからです。テレビでも、この2つの出来事は何回も何十回も繰り返し放送され、否応なく最も思い出される一年となっています。また、年代の違う人に会おうと、よく「大阪万博の時は何年生だった？」と聞かれることが度々ありました。どの年も同じ一年のはずなのに、また人によって思い出の一年は違うはずなのに、「みんなにとって特別な一年になる年がある」ということを強く感じています。今年は、そんな特別な一年になるからこそ、子どもたちには「何をしたかったのか」、そして「何に取り組んだのか」、しっかりと記憶に残る一年にしてほしいと願っています。



新しい年を迎えると、体も心もリセットされます。「子(ね)」は十二支の最初の動物で、新しいものがどんどん生み出されていくという意味があるとのこと。今年も、先生方と一緒に子どもたちのやる気を応援していきたいと思います。ご家庭でも、新しい年を迎えた子どもたちの「今年の目標」を聞いてあげてください。そして、子どもたちのやる気を奮い立たせるような温かい声かけをよろしくお願い致します。

### わくわくまつり2019

12月19日木曜日に、「わくわくまつり2019」を開催しました。この取組は、2年生から6年生までの各クラスが、各ブース（ゲーム・あてもの・おたけ屋敷など）を設けて、全児童がブース巡りをするというものです。この日に向けて、各クラスでは力を合わせて準備してきました。当日は、北中学校区の幼稚園や保育所、小学校や北中学校の先生方も来ていただき、どのブースも子どもたちであふれ、とても賑やかでした。このような取組を通して、みんなで協力して考え、作り上げることのすばらしさを感じてほしいと願っています。



### みんなでチャレンジ

12月25日水曜日に、3・5・6年生でチームを作って、「みんなでチャレンジ」大会に出場しました。会場は橿原の「ジェイテクトアリーナ奈良」で、当日は、26校107チーム1300人以上が参加して、大会は盛大におこなわれました。

本校からは、5チームを編成して「8の字大なわとび」の種目に出場しました。どのチームも何度縄にかかっても諦めずに頑張ってお跳び続けがんばりました。来年もみんなで入賞目指して頑張りましょう。

### 丹波市校区「クリスマス会」

12月25日水曜日に、天理市文化センターで行われた丹波市区長会主催「丹波市校区多世代交流クリスマス会」に4年生チームが出演しました。

当日は、丹波市幼稚園の太鼓演奏や北中学校吹奏楽部の演奏と並んで、4年生チームがフラッグを持ち「ピースサイン」の曲に合わせてダンスを披露しました。踊った後には会場から温かい拍手をいただき、4年生の子どもたちにとっては思い出に残るクリスマスとなりました。参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

